



魯 桃 桜

編集・発行 長野市立長野図書館
〒380-0843 長野市長門町 1097-3
電話 026-232-3558
<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>



魯 桃 桜

長野図書館のシンボルで、図書館だよりのタイトルにもなっている魯桃桜。春を告げる桜として毎年3月上旬から中旬にかけて開花します。去年は3月13日に開花しました。

長野市の桜というと、城山公園と松代城跡のソメイヨシノ、素桜神社の神代桜(エドヒガンザクラ)などが有名で、県外からもお花見に多くの方が訪れますが、本館の魯桃桜も負けず劣らず色鮮やかに花が咲き、来館者の心を和ませてくれます。去年も、スマートフォンを片手に写真を撮っている方がたくさんいらっしゃいました。

去年、多くの方から、「この木は、桃の木なの？桜の木なの？」といった質問をいただきましたが、正確には「桃」の仲間です。今の長野図書館の場所には、旧県立図書館があり、当時から魯桃桜が植えられていたようですが、現在は枯れてしまったりして残っていません。今あるのは、木の脇から生えてきたもの、取り木して育てたもの、実生のもので、赤色が7本、白色が3本の計10本が植えられています。

今年も、もう少しすると開花し見頃になりますので、ぜひ長野図書館にお越しください。

参考：県立長野図書館ホームページ「魯桃桜(ろとうざくら)と図書館」

今月のテーマ「さくら」

さくらの開花予想のニュースを見る季節になりました。今年も3月下旬頃に全国で徐々に咲き始め、長野は4月上旬頃に開花すると予想されています。しかし、図書館には長野市で一番早く咲くと言われている魯桃桜があります。毎年3月に咲くので、ひと足早く春の訪れを感じることができます。

そんな春の花、さくらの本を集めてみました。ぜひご覧ください。

図書館カレンダー

平日 9:45~19:00

土日祝 9:45~18:00

3 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

1月・2月発表の文学賞

第27回大藪春彦賞

『円かなる大地』 武川佑/著 《F タ》

第76回読売文学賞

<小説賞>

『コード・ブッダ』 円城塔/著 《F エ》

<随筆・紀行賞>

『文化の脱走兵』 奈倉有里/著 《914.6ナ》

<評論・伝記賞>

『翻訳とパラテキスト』 阿部賢一/著 《未所蔵》

<詩歌俳句賞>

『草の譜』 黒木三千代/著 《未所蔵》

<研究・翻訳賞>

『別れを告げない』

ハン ガン/著 斎藤真理子/訳 《929ハ》

新書大賞2025

『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』

三宅香帆/著 《019ミ》

新刊案内

『教養としての「民法」入門』

遠藤研一郎/著 日本実業出版社 《324エ》

他人の財産をずっと預かっていたら自分のものになる？日本の民事訴訟において、一番用いられている条文は？民法の読み方と全体構造、他の法律とのかわりなどを取り上げ、豊富な事例とともにやさしく解説する。

『花束作りの花合わせレッスン』

梶谷奈允子/著 誠文堂新光社 《627カ》

花束を作るときは、メインになる花の特徴を踏まえて、どのような花束にするか、何の花材を合わせるかを考えることが大切。花の特徴を解説し、メインの花を生かす花束にするための組み合わせや使い方を紹介する。

『図解で学ぶめくるめく日本語史の世界』

今野真二/著 淡交社 《810コ》

日本語と漢字との出会い、ハ行音の変遷、平安時代の言葉と平仮名、東西差と江戸語、言文一致運動…。奈良時代以前から近代までの日本語の歴史を、イラストや図版を交えわかりやすく解説。出版や教育に関する事項も取り上げる。

『発明が変えた世界史』

祝田秀全/監修 朝日新聞出版 《507ハ》

文字、ワクチン、飛行機…。世界史を変えた60の発明や発見を、オールカラーでビジュアル解説。右ページに「発明品が生まれたきっかけ」、左ページに「発明品で歴史がどう変化したのか」を掲載。発明品のさらなる進化も紹介。

『マンガの原理』

大場渉/著 KADOKAWA 《726マ》

職業漫画家としてずっと食べていくために最も大事なものは技術。コマ割りと視線誘導、絵、フキダシとセリフ、キャラ・ネタ・ストーリーの原理など、これまで口伝で受け継がれがちだった漫画技術の数々を事例を交えて徹底解説。

『ものごころ』

小山田浩子/著 文藝春秋 《Fオ》

子供が飲み込んでしまったスモモの種はいつ出てくるのか。2人の少年が川原で拾った、怪我をした犬の命運は…。色あざやかな「子供の世界」を描いた9篇の短篇を収録する。

3月映画上映予定

会場:3階視聴覚室

3月8日(土) 11:00~15:30(昼食休憩含む)

「オーソン・ウェルズ監督作品 2タイトル」

字幕・白黒・アメリカ作品

①「偉大なるアンバーソン家の人々」 88分・1942年

CAST:ティム・ホルト/ジョセフ・コットン

ドロレス・コステロ/アン・バクスター

②「市民ケーン」 119分・1941年

CAST:オーソン・ウェルズ/ジョセフ・コットン

ドロシー・カミングア/レイ・コリンズ

3月22日(土) 14:00 から

タイトル:「別れの曲」

字幕・白黒・91分・1934年・ドイツ作品

監督:ゲツァ・フォン・ボルヴァリー

CAST:ヴォルフガング・リーベンアイナー

リヒャルト・ロマノスキー/ハンナ・ヴァーグ

シビル・シュミッツ/ハンス・シュレンク

新着 CD 紹介

すぐに使える効果音	《424ス》
THE BEST アントニン・ドヴォルザーク	《760ト》
マジエルのまどろみ	《763イ》
サイレントラブ	《778ヒ》
六代目三遊亭円楽独演会 第2巻	《779サ2》

見たり聞いたり ~新着 AV からピックアップ~

バンドネオン・レジェンド

三浦 一馬/バンドネオン《764ミ》

バンドネオン奏者三浦一馬が、バンドネオンの神様ともいえる師ネストル・マルコーニを迎えた記念コンサートを収録したアルバム。伝統と郷愁、バンドネオンとクラシックの革新的な音楽の共演をお楽しみください。

